

二戸地域の森林・林業概要



祝ユネスコ無形文化遺産登録



折爪岳 ヒメホタル



祝日本遺産認定

1	二戸地域の森林・林業をめぐる動向（令和2年度）	
2	二戸地域の概況	1
3	二戸地域の森林資源	2
4	二戸地域の林業	
(1)	森林経営計画	4
(2)	森林整備	5
(3)	木材生産・加工・流通	7
(4)	特用林産物（木炭、生漆、しいたけ）	8
(5)	林業経営体	11
(6)	林業労働力	12
(7)	高性能林業機械	13
(8)	森林保護	14
(9)	木質バイオマス資源	16
(10)	森林経営管理制度	16
(11)	林道整備	17
(12)	県有林	18
(13)	保安林	18
(14)	治山	19
(15)	カシオペアフォレストスクール	19

令和3年6月

二戸農林振興センター林務室

1 二戸地域の森林・林業をめぐる動向（令和2年度）

○新型コロナウイルス感染症の影響

・令和2年4月～9月

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、「緊急事態宣言」が全国に発出されたことから、日本全体で事業活動の停滞が続いた。

森林・林業分野では、川下側への原木の流通が停滞するなど素材生産業を中心に影響を受けた。

（右：岩手日報 R020709 掲載 浄安森組土場）

浄安森林組合では、共販所における取扱数量が前年比7割程度に落ち込んだことから、森林整備事業等へのシフトを組み替えるなど対策を講じた。

・令和2年10月～令和3年3月

夏場以降は、木材需要も回復、米国内での新築住宅需要の増加などの影響を受け（ウッドショック）、国産材を手当てする動きが加速、管内製材業者は一年前と異なり多忙な状況となった。



○浄法寺漆に関する動き

日本遺産認定（令和2年6月19日）

「奥南部漆物語～安比川流域に受け継がれる伝統技術～」

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、二戸市・八幡平市が共同申請していたもの。

構成文化財

【国重要文化財】浄法寺の漆掻きと浄法寺漆の用具及び製品

【国選定保存技術】日本産漆生産・精製技術

【国重要文化財】天台寺（本堂・仁王門）

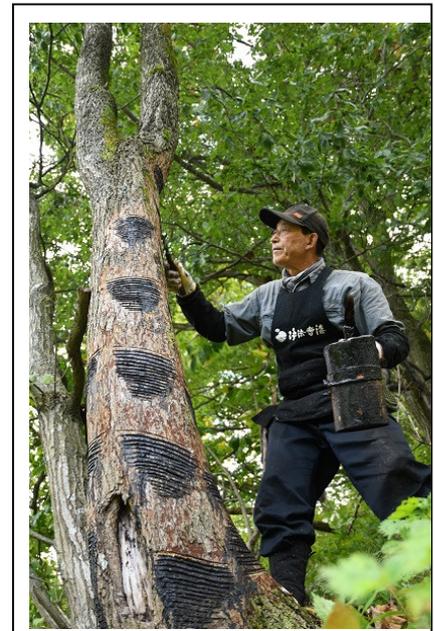
【県有形文化財】安比川上流域の木地師関係資料

ユネスコ無形文化遺産 登録（令和2年12月）

「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」

登録対象：「日本産漆生産・精製」や木工、左官など17分野の選定保存技術

漆に関しては、「日本うるし掻き技術保存会」が文化庁から保存団体として認定され、「漆掻き」の技術保存に向けた活動を行っている。



2 二戸地域の概況

● 二戸市

- ・人口 27,087人（H31.1.1現在） 森林率74%
- ・平成18年1月、二戸市と浄法寺町が合併し、新「二戸市」が誕生

・特色

東北最大級のヒメホテルの鑑賞地と言われる折爪岳は、折爪岳森林公園・「折爪・馬仙峡県立自然公園」に含まれており、森林環境学習の拠点施設として活用されている。

このほか、二戸市には天下人に逆らった九戸政実の居城であった国指定の史跡「九戸城址」、瀬戸内寂聴師が名誉住職を務め本堂など平成の大修理を終えた「天台寺」、座敷わらし伝説の残る「金田一温泉郷」など、観光スポットがある。

・特産品

地理的条件を生かした雑穀栽培のほか、サクランボや高級リンゴ（冬恋）などの生産が注目を浴びている。また、葉タバコ生産が盛んな地域で岩手県内の2/3の生産量となっている。

・浄法寺漆

旧浄法寺町を中心とした地域で生産される生漆は、国産漆の約7割の生産量を占めている。年間3万本を目標にウルシ苗木生産を行い、漆資源の造成に努めている。

● 軽米町

- ・人口 9,193人（H31.1.1現在） 森林率76%

・特色

低山に囲まれた丘陵地帯で、大半の集落と田畑は200mから300mの地帯に集中する農林畜産業を中心とした農山村で、近世から現代までは、沿岸と内陸を結ぶ交通の要衝として宿場町として発展した。

「岳の湧口」（岩手の名水20選）や、15万本のチューリップが咲き誇る「雪谷川ダムフォリストパーク・軽米」は異国情緒豊かな観光施設となっている。

・特産品

「ヤマセ」の影響を受けるため、様々な雑穀産地であり、雑穀を活用した郷土食、伝統食など多彩な食文化が伝承されている。出荷額で見るとブローラー関係が大きい。

・再生可能エネルギー施設

町内では、大規模太陽光発電施設の整備が進んでおり、折爪岳中腹にあるミレットパークからは、「軽米東・西ソーラー」施設の全貌を確認することができる。

また、鶏ふん燃焼発電施設や風力発電施設など再生可能エネルギーの活用を積極的に取り組んでいる。

● 九戸村

・人口 5,802 人 (H31. 1. 1 現在) 森林率 75%

・特色

折爪岳の東側に位置するなだらかな丘陵地帯で、年間降水量は 900mm の畑作地帯で、総合土地改良事業と畑地かんがい施設の整備が進み、葉たばこ、野菜、花卉の栽培振興に努めながら、安全・安心な農業先進地として全国に発信している。

・特産品

国内有数の産地である甘茶や、縮れの強いホウキモロコシを使用した「南部ほうき」、樗や桐に摺りうるしで仕上げた南部箆笥など特徴ある産品がある。

畜産業では、特に昭和 45 年ごろから本格生産が始まったブロイラーが盛んにおこなわれており、県内生産量は 1 位。各種イベントでは、九戸村非公式キャラクター“オブリキ”を利用した PR 活動が行われている。

● 一戸町

・人口 12,058 人 (H30. 4. 1 現在) 森林率 74%

・特色

南西部の西岳地区には、観光拠点となる「奥中山高原スキー場」、「いわて子どもの森」などの施設が立地している。

一戸町の工業団地整備の際に確認された御所野遺跡は、縄文時代の景観が復元された史跡公園として整備されており、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成遺産の一つとして世界遺産登録を目指している。

・特産品

農業が基幹産業として発展し、夏季の冷涼な気候を生かした高原野菜の一大産地となっている。

また、鳥越の竹細工、面岸の^み箕などの工芸品がある。

・木質バイオマス発電施設

御所野遺跡に隣接する工業団地内には、木質バイオマス発電施設「御所野縄文発電所」が立地している。

3 二戸地域の森林資源

- 平成 30 年度における二戸管内の森林面積は 81,619ha で区域面積の 74.2%を占め、このうち民有林は 74,976ha で森林面積全体の約 92%、国有林は 6,643ha で約 8%となっている。
- 民有林の人工林面積は 30,202ha で、人工林率は 40.3%となり、県平均の 42.0%をやや下回っている。

【管内の森林資源構成】

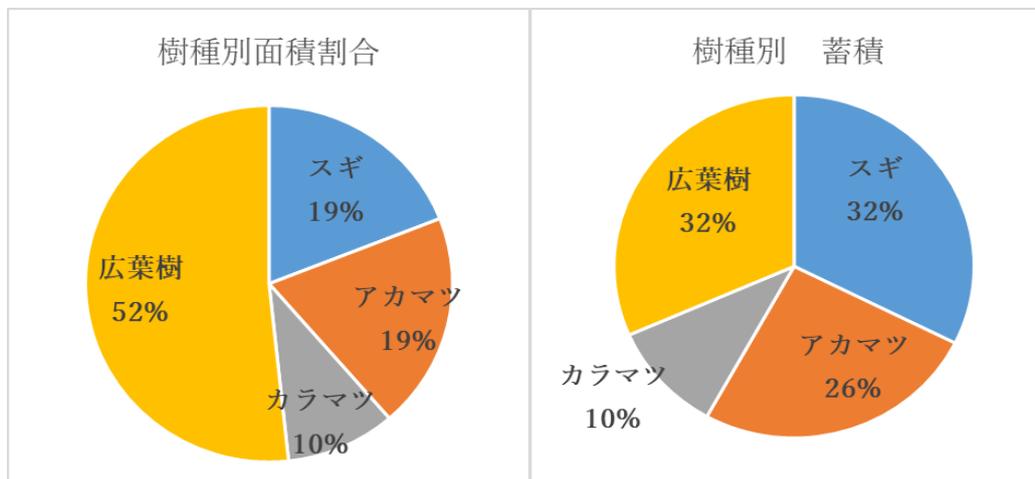
(単位：h a)

市町村名	区域面積	森林面積			森林率	民有林 人工林面積	民有林 人工林率
		国有林	民有林	計			
二戸市	42,042	4,248	26,857	31,105	74.0%	12,610	47.0%
軽米町	24,582	0	18,694	18,694	76.0%	6,467	34.6%
九戸村	13,402	0	10,043	10,043	74.9%	4,039	40.2%
一戸町	30,003	2,395	19,382	21,777	72.6%	7,086	36.6%
計	110,029	6,643	74,976	81,619	74.2%	30,202	40.3%
県 計	1,527,502	388,093	783,081	1,171,174	76.7%	329,201	42.0%

※平成 30 年度版岩手県林業の指標

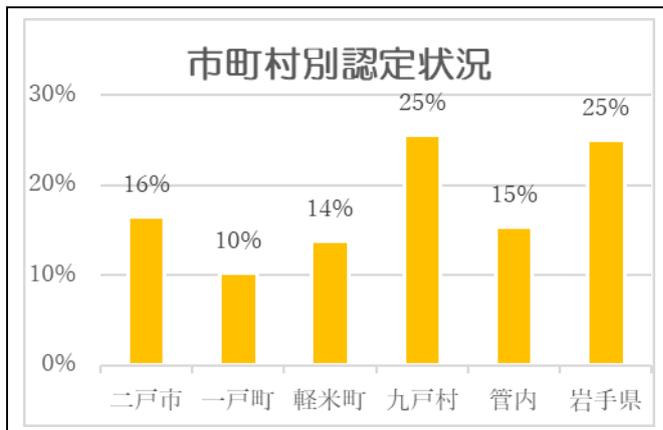
※合計面積は四捨五入及び境界未定の関係で一致しない

○樹種別割合



4 二戸地域の林業

(1) 森林経営計画



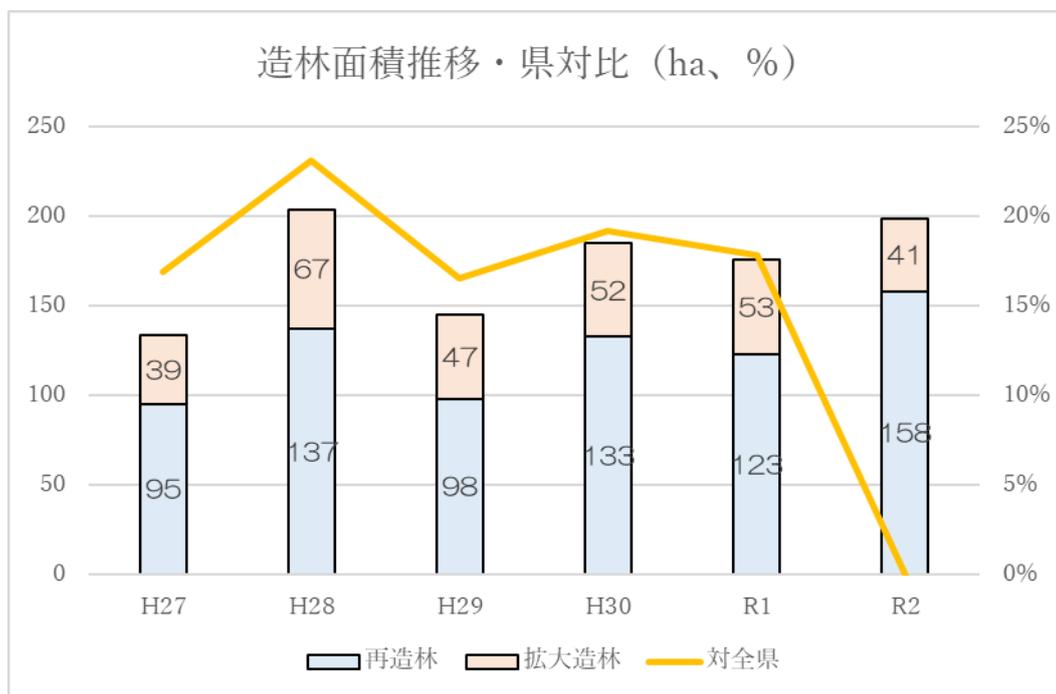
民有林における策定率は15%と県平均25%を下回っている。

市町村別では、一戸町の策定率が低位となっている。

(2) 森林整備

ア 造林

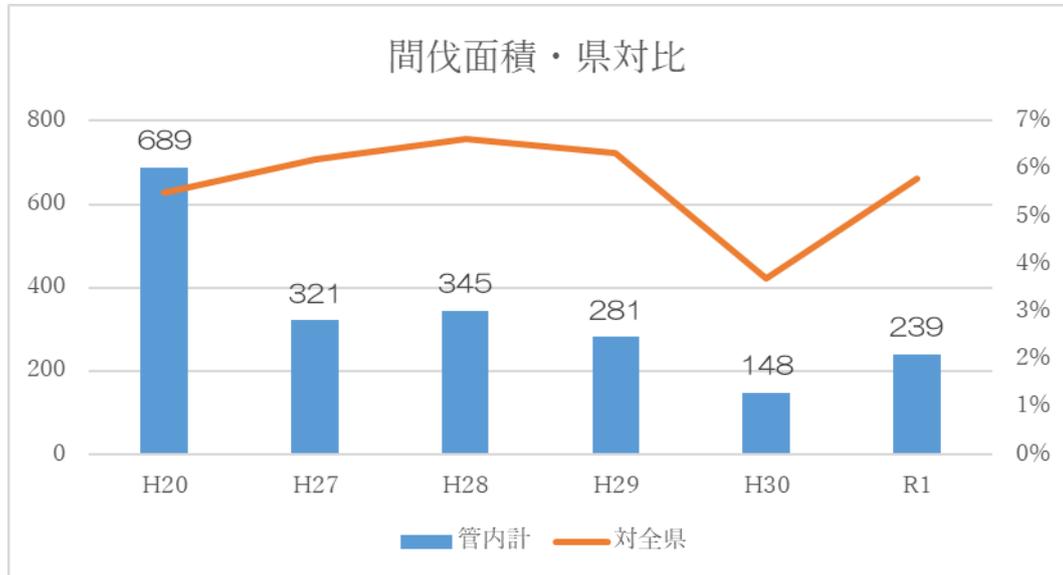
- 県全体造林面積 800~900ha で推移
- 管内の造林面積 県全体の約2割を占め、令和2年度実績は199ha。
素材生産業者が車両系伐出機械を用いて伐採～地拵まで行う「低コスト型再造林」を行い、再造林が進んでいる。



	H27	H28	H29	H30	R1	R2
再造林	95	137	98	133	123	158
拡大造林	39	67	47	52	53	41
計	134	204	145	185	176	199
対全県	17%	23%	17%	19%	18%	#DIV/0!
県計	792	881	876	962	987	

イ 間伐

県全体 平成20年度の12,500haから漸減し、令和元年度は4,124haまで低下。
管内 平成20年度には690ha程度の実績があったが、200haほどに低下してきており、県全体に占める割合も5%程度と低位となっている。



区分	H20	H27	H28	H29	H30	R1
管内計	689	321	345	281	148	239
対全県	5%	6%	7%	6%	4%	6%
県計	12,530	5,184	5,210	4,446	4,010	4,124

ウ 林業種苗

管内の林業種苗生産者3者

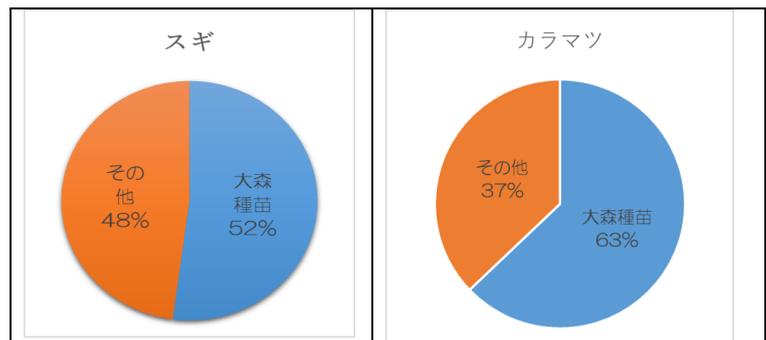
○大森種苗

県内有数の林業種苗生産者
R2年度の苗木生産割合は右図のとおり。

(裸苗、コンテナ苗合計)

スギ苗木 604千本

カラマツ苗木 1,983千本



大森種苗：カラマツコンテナ苗圃場

(3) 木材生産・加工・流通

ア 木材生産量（国有林含む）

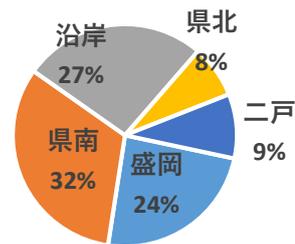
県全体 平成30年次は約151万³で、北海道、宮崎県に次ぐ第3位の生産量。

管内 岩手県の約1割に相当する約14万³を生産している。

【管内素材生産量（推定）】 （単位：³）

	平成30年次		
	針葉樹	広葉樹	計
国有林	33,009	2,483	35,492
公有林	78		78
私有林	77,028	29,047	106,075
計	110,115	31,530	141,645
対全県	8.9%	11.4%	9.4%
県計	1,238,000	276,000	1,514,000

局別素材生産量

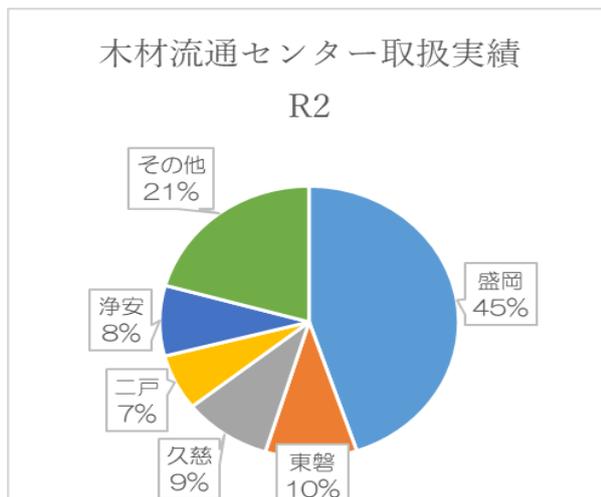


出展：岩手県の木材需給と木材工業の現況

イ 二戸管内の主な木材加工施設

製材所名	市町村	主な製品等出荷先
柴田木材	二戸市	岩手木材市場（スギ製材品 柱材等）
本宮木材	一戸町	スギ製材品（青森県産） 羽柄材生産
柴田産業	一戸町	製材品、チップ
木村産業	一戸町	製材品（板材、羽柄材）青森県スギ⇒関東市場
一戸製材所	一戸町	製材品（アカマツ材）
一戸森林資源	一戸町	バイオマス発電用チップ

ウ 県森連 木材流通センター（R2 取扱実績）



二戸 7,049 ³（対前年比 78.2%）
 浄安 8,904 ³（対前年比 53.2%）
 県計 106,204 ³（対前年比 81.6%）

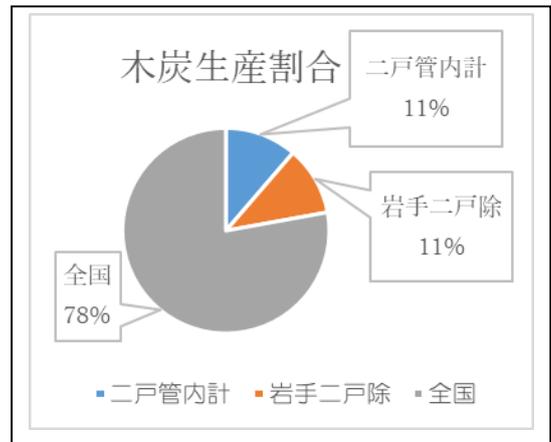
※新型コロナウイルス感染症の影響で、木材取引が低迷したため令和2年の取扱量は令和元年と比較し減

(4) 特用林産物

ア 木炭

令和元年の木炭生産量は2,385トン、全国の生産量の28.4%を占め、日本一の生産県である。

管内の生産量は1,214トンで県全体の50.9%を占め、久慈管内と併せた県北広域振興局管内計では県全体の9割を占めている。



【主な生産者】

小林薪炭（二戸市）

於本徳勝（軽米町）

七戸産業（九戸村）

令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響

緊急事態宣言の発令等を受け、首都圏では営業時間短縮等の措置が図られた。木炭の飲食店向け出荷は大きく絞られることはなく推移している。

“ソロキャンプ” “巣籠需要”により、ホームセンター等での販売が好調で、6kg詰から3kg詰の人気の高まっている。

【管内特用林産物 木炭生産量】

区分	木炭生産量 (kg)					R2 生産者数
	H28	H29	H30	R1	R2	
二戸市	235,544	207,502	170,615	152,051	101,409	7
軽米町	682,375	608,112	536,968	502,027	466,709	23
九戸村	667,371	584,460	491,141	546,840	406,664	22
一戸町	26,199	21,000	11,149	13,072	11,022	1
計	1,611,489	1,421,074	1,209,873	1,213,990	985,804	53
県内シェア	48.6%	47.1%	45.1%	50.9%	#DIV/0!	
全国シェア	15.5%	14.8%	13.8%	14.5%	#DIV/0!	
県計	3,317,127	3,014,085	2,681,669	2,384,900		135
全国	10,375,000	9,602,800	8,742,200	8,389,600		771

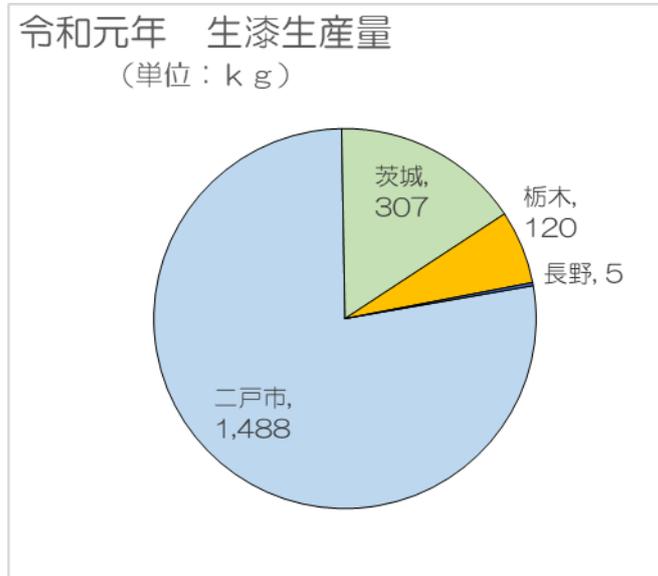
※令和2年度特用林産物統計表

※平成2年度特用林産物統計表、木炭は黒炭、白炭の計

イ 生漆

「浄法寺漆」として全国一の生産量を誇り、平成30年に地理的表示（GI）保護制度に登録されている。二戸市が県内唯一の生産地で、令和元年実績で全国の74.5%を占めている。

【令和元年における全国の生漆生産割合】



【出荷先】
県内外の漆器製作者、
文化財修復関係者

【取引価格】
52,000 円/k g

【管内特用林産物 生漆生産量】

(単位：k g)

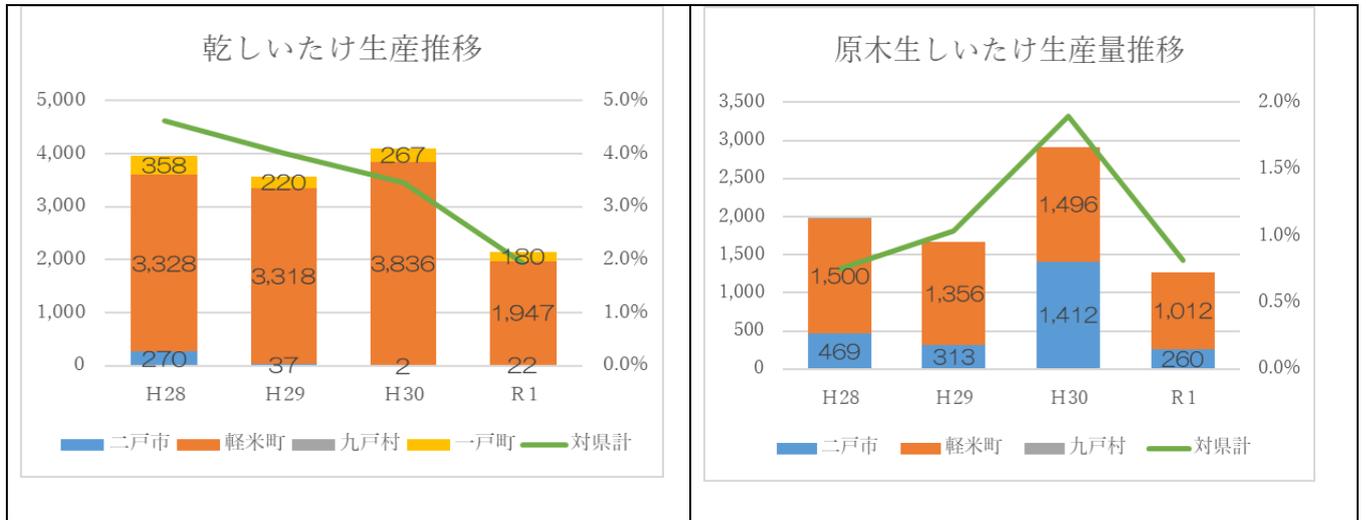
区分	H 3	H 10	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	生産者数
	二戸市	650	1,200	821	935	1,040	1,256	1,488	1,525
(浄法寺町)	2,250								
一戸町	130	160							
県計	3,030	1,360	821	935	1,040	1,256	1,488	1,525	34
対全国	60.8%	57.4%	69.5%	74.8%	72.5%	68.1%	74.5%	#DIV/0!	#DIV/0!
全国	4,982	2,371	1,182	1,250	1,434	1,845	1,997		
茨城			178	147	183	360	307		
栃木			120	120	120	120	120		
長野			24	30	20	24	5		
輸入	H 3	H 10	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	
中国	259,982	161,935	44,014	42,050	40,925	35,879	34,238	30,165	
ベトナム	17,200	3,200	-	684	-	-	2,016	-	
その他	3,817	2,160	-	590	-	-	-	-	
計	280,999	167,295	44,014	43,324	40,925	35,879	36,254	30,165	

※令和元年度特用林産物統計表及び二戸農林振興センター林務室調べ

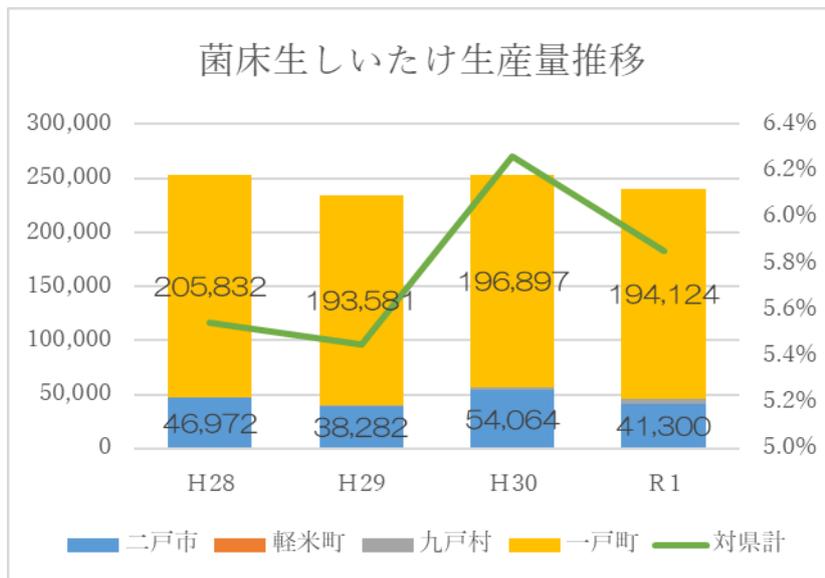
※ 令和2年度特用林産物統計表及び二戸農林振興センター林務室調べ

ウ しいたけ

原木しいたけ生産者は減少傾向。九戸村、一戸町での生産量はわずかとなっている。



「原木しいたけ」の生産量は減少しており、県全体に占める生産割合は2%以下となっている。
出荷先は、地元産直施設等が主体となっている。



菌床しいたけについては、二戸市・一戸町で栽培されており、生産量は県全体の6%程度となっている。

(5) 林業経営体

○ 二戸地域の林業経営体数は679、10ha未満の小規模・零細な経営体数が半数の335。

【保有山林面積規模別経営体数】

(単位：経営体・ha)

	林業経営体									山林面積
	1～3	3～5	5～10	10～20	20～30	30～50	50～100	100以上	計	
二戸市	3	78	77	69	39	27	11	6	310	7,017
軽米町	1	35	49	32	27	25	11	8	188	5,288
九戸村	2	25	19	20	12	5	8	6	97	4,224
一戸町	1	26	19	19	6	6	3	4	84	2,651
管内計	7	164	164	140	84	63	33	24	679	19,180
比率	1.0%	24.2%	24.2%	20.6%	12.4%	9.3%	4.9%	3.5%	100.0%	
県計	128	1,232	1,320	1,066	472	349	229	184	4,979	171,647

※農林水産省 HP 2015年世界農林業センサス

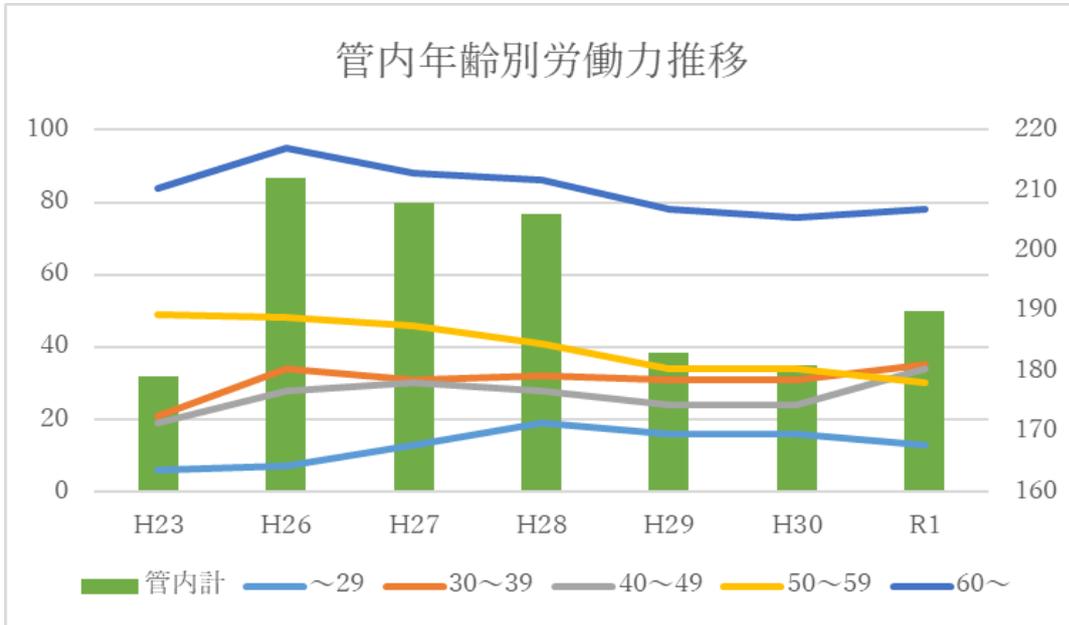
○二戸地域の「意欲と能力のある林業経営体」

森林組合のほか7事業体が認定されている。

登録番号	事業体名	代表者	認定事業主	現場作業員	施業プランナー	プロセッサ	ハーベスタ	フォワーダ	素材生産量 (m ³)			
									主伐N	主伐L	間伐	計
1101	二戸林業	田頭政志	○	16		1	2	4	19,041	5,233		24,274
1102	浄安森林組合	佐藤武志	○	21	5	1	1	4	11,365		5,829	17,194
1103	二戸地方森林組合	坂本 悟	○	23	4	1			1,847	1,104	7,506	10,457
1104	荒川商事有限会社	荒川吉広	○	2			2					0
1105	株式会社一戸製材所	梅垣俊輔	○	11								0
1106	本宮木材株式会社	本宮久仁彦		4		1	1	3				0
1107	小野寺木材	小野寺隆治		5		1	2					0
1108	株式会社姉帯林業	姉帯賢治		6		1		3				0
1109	株式会社柴田産業	柴田君也	○	11			3	4	36,627		300	36,927

(6) 林業労働力

- 令和元年度の二戸地域の林業労働力は前年度から7名増の190人となっている。
若年者の就労がみられるものの、労働者全体の約4割が60歳以上となっている。



	H23	H26	H27	H28	H29	H30	R1
~29	6	7	13	19	16	16	13
30~39	21	34	31	32	31	31	35
40~49	19	28	30	28	24	24	34
50~59	49	48	46	41	34	34	30
60~	84	95	88	86	78	76	78
管内計	179	212	208	206	183	181	190
県計	2,094	2,037	1,924	1,892	1,835	1,791	1,705

※令和元年度岩手県労働力実態調査 年間林業就業日数60日以上の方

※年間林業就業日数 60 日以上の方

※令和元年度岩手県労働力実態調査

(7) 高性能林業機械等保有状況

木材生産の低コスト化に資する高性能林業機械の導入が進んでおり、老朽機械の処分等により増減があるものの、令和元年度末では38台で、そのうちハーベスタが19台となっている。

【管内高性能林業機械等保有状況】

(単位：台)

	H23	H26	H27	H28	H29	H30	R1	県計
フェラーバンチャ		3	4	3	1	1	2	7
スキッダ		3	3	3	1	1	1	15
プロセッサ		5	7	7	6	7	7	85
ハーベスタ		13	11	12	15	19	19	97
フォワーダ		11	7	9	3	4	5	73
タワーヤード								10
スイングヤード		1	4	6	2	2	3	21
その他		3	5	6	1	1	1	72
管内計	0	39	41	46	29	35	38	380
グラップルソー		8	16	13	13	15	16	

※その他の高性能林業機械＝ザウルスロボMSE-45FGZX

出典：岩手県林業機械保有状況調査（令和元年度実績）



柴田産業 グレモ (左) ハイランダー (右)

(8) 森林保護

ア 松くい虫被害

平成 29 年一戸町小鳥谷地内のアカマツ枯死木からマツノザイセンチュウが検出された。以降、一戸町内において被害木が確認されている。

【松くい虫被害材積】

単位：m³

	H29	H30	R1	R2	
一戸町	26	10	49	121.17	
県計	29,745	29,986	28,044		

【隣接市町村の発生状況】



青森県①

南部町小向地区でH30 から被害を確認。

R 2 の被害木は 1 本確認。

岩手県②

山谷国有林内において確認（岩手町大字黒内字山谷）

一戸町の被害状況

○経緯

- ・ H29. 7 に確認（一戸町小鳥谷地区）
- ・ 以降、毎年被害を確認・駆除
- ・ アカマツ林一部を高度公益森林として設定（R3～）

○特徴

- ・ 天然アカマツでの被害が多い

イ ナラ枯れ被害

令和 2 年 3 月末時点で管内の発生は確認されていない。

※岩手県内では、内陸部で北上市、沿岸部で久慈市まで北上していることが確認されている。

ウ 山火事

管内では、「野焼き」を原因とする山火事が春の乾燥時期に毎年発生している。

【管内山火事発生件数・面積】

(単位：件・ha)

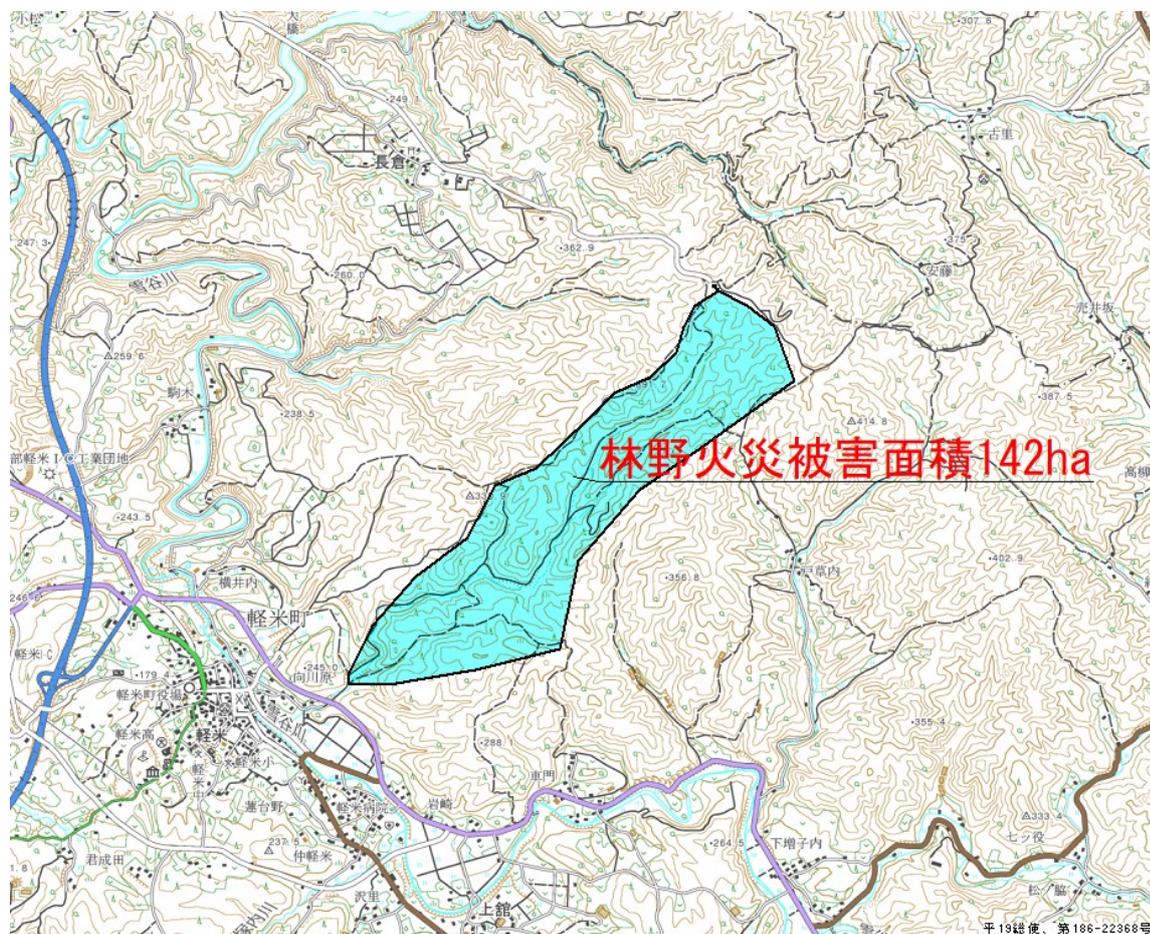
	H28		H29		H30		R1		R2	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
二戸市	1	0.02	1	0.18					1	0.01
軽米町	2	0.88	1	0.02			2	0.08		
九戸村							1	0.28		
一戸町			1	0.01	1	4.12	1	0.48		
管内計	3	0.90	3	0.21	1	4.12	4	0.84	1	0.01
県計	59	10.11	44	423.58	33	57.24	59	9.19	38	14.74

※令和2年の出火原因は、「野焼き」によるもの1件であった。

【軽米町林野火災】

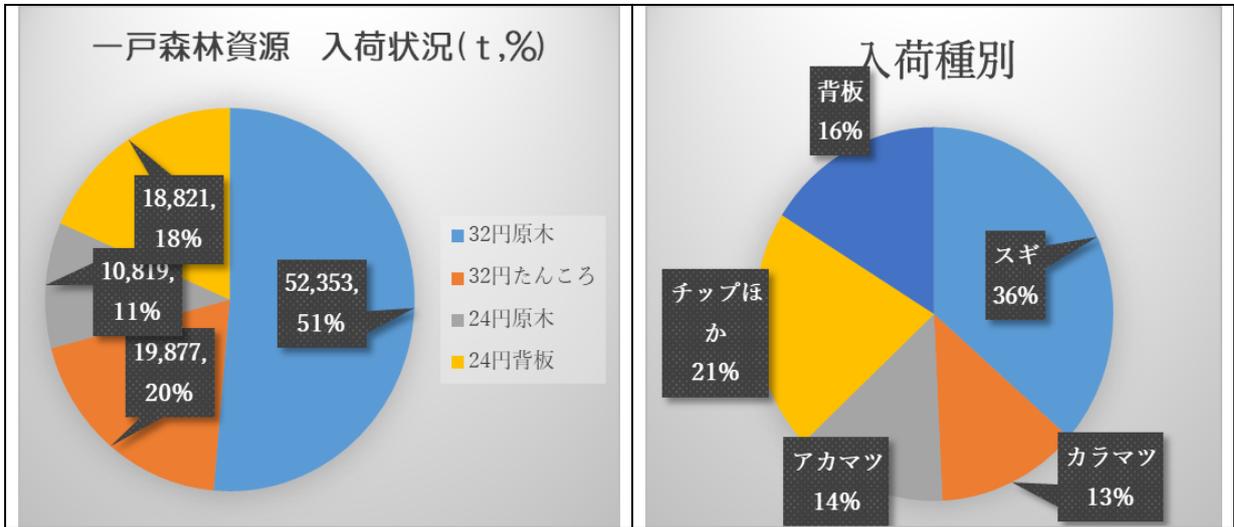
平成10年4月に発生した林野火災では、町有林・県行造林を含む142haが被害を受けた。

翌年からは被害木を伐採して復旧造林が進められ、スギなどを中心に約70haが造林されている。



(9) 木質バイオマス資源

一戸町内に木質バイオマス発電施設が整備され、平成 28 年から売電を始めている。使用する原料は年間約 10 万 t 程度で、令和元年度の入荷状況は次のとおりである。経営上有利な 32 円原木・32 円たんころ等を中心に集荷している。



※原木等の調達については、NJ7 割、二戸地方木材安定供給協議会 3 割となっている。

参考

F I T 制度^{*}における買取価格 (2021 年度以降) バイオマス発電関係

	買取価格	内 容
未利用木材	40 円 (2,000KW 未満)	間伐材、森林経営計画策定森林等から生産される材
	32 円 (2,000KW 以上)	
一般木材	24 円	製材等残材、その他由来が証明できる可能な材
リサイクル材	13 円	建設資材廃棄物、その他木質バイオマス

※再生可能エネルギーの「固定価格買取制度」：経済産業大臣が決定

(10) 森林経営管理制度

新たに始まった森林経営管理制度への各市町村の対応状況は次のとおり。

一戸町では、「地域林政アドバイザー」を雇用して、意向調査等の業務にあたっている。

	令和 2 年度の取組	令和 3 年度の予定
二戸市	意向調査実施 上斗米地区 (二戸森組) 大清水地区 (浄安森組)	意向調査 二戸・浄法寺それぞれ 1 地区 集積計画の策定は未定
軽米町	意向調査用準備調査 (委託)	意向調査予定
九戸村	意向調査用準備調査 (委託)	(組織体制を整備し) 意向調査予定
一戸町	意向調査実施 鳥越地区 (直営)	意向調査予定 新規地区

※二戸市、軽米町、九戸村は森林組合に業務委託を予定

(11) 林道整備

路網については「林道」、「林業専用道」及び「森林作業道」に大きく分けられ、それぞれの役割等に応じて適切に組み合わせた路網の整備を推進している。

- 二戸地域の令和元年度末の林道延長は、370 kmとなっている。
- 作業道を含めた路網密度は 19.8m/ha で、県内平均の 26.0m/ha を下回っている。

【管内民有林道路及び路網密度】					(単位：m、m/ha)		
	林内道路a			計	作業道b	林内路網 計a+b	林内 密度
	公道	林道	林業専用道				
二戸市	262,144	136,434	2,520	401,098	78,405	479,503	17.9
軽米町	175,307	92,959	0	268,266	120,071	388,337	20.8
九戸村	120,563	58,724	0	179,287	24,802	204,089	20.3
一戸町	177,123	82,151	554	259,828	39,338	299,166	15.4
管内計	735,137	370,268	3,074	1,108,479	378,468	1,486,947	19.8
県計	8,545,476	4,519,602	28,989	13,094,067	4,515,831	20,322,591	26.00

※ 県林内路網密度資料より



【管内林道事業計画】							(単位：m)	
路線名称	場所	工種	計画期間	幅員	計画延長	完成延長	残延長	進捗率
林業専用道 花見舟打線	二戸市	開設	H26～R5	3.5	4,573	1,720	2,853	38%
森林基幹道 安孫・平糠線	一戸町	改築	H20～R9	4.0～5.0	4,703	2,029	2,674	43%
森林管理道 朴館線	一戸町	開設	H28～R5	4.0	2,900	994	1,906	34%
計					12,176	4,743		

(12) 県有林

管内の県有林は、明治 42 年に国有林を購入して開設された県有模範林釜沢、織詰事業区を始めとして、各時代の社会的、経済的な要請を反映しながら、県有模範林・県行造林の造成を行い、山村地域の雇用の場の確保等地域の振興に寄与してきた。

平成 19 年に（社）岩手県林業公社が解散したことに伴い、林業公社事業を県が引き継いで公営林として管理している。

管内の県営林（県有模範林と県行造林）と公営林（旧林業公社営林）を合わせた県有林面積は、6,357ha となっており、管内民有林の 8% の割合を占めている。

【管内県有林 市町村別面積】（令和元年度末）						（単位：箇所数、ha）		
	県行造林		模範林		公営林		計	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
二戸市	76	1,207	2	649			78	1,856
軽米町	24	383			46	1,367	70	1,750
九戸村	17	1,025					17	1,025
一戸町	86	1,388			27	338	113	1,726
管内計	203	4,003	2	649	73	1,705	278	6,357
県計	2,026	50,317	12	5,500	888	25,052	2,951	80,869

※ 二戸農林振興センター林務室調べ※ 面積は、施業外地を除いた面積

(13) 保安林

保安林は、水源のかん養、土砂の崩壊その他の災害の防備、生活環境の保全・形成等、特定の公共目的を達成するため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定される森林である。

保安林では、それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制される。

【管内民有林保安林面積】（令和元年度末）						（単位：ha）	
区分	流域名	区域名	水かん	土流	土崩	その他	計
二戸市	馬淵川					(594)	
		馬淵川中流 ～米代川	3,420	427	143	500	4,490
一戸町			1,487	225	88	31	1,831
軽米町	新井田川					(83)	
九戸村		瀬月内川 ～雪屋川	59	183	95	171	508
			2,902	71	0	173	3,146
管内計			7,868	906	326	(777)	9,975
県計			103,107	29,167	3,141	(2,936)	142,810

※（ ）及び [] は兼種指定の保安林であるが、（ ）は外数字、[] は内数字。

(14) 治山

治山事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から県民の生命・財産を保全し、また、水源のかん養、生活環境の保全・形成等を図る極めて重要な国土保全政策の一つであり、安全で安心できる豊かなくらしの実現を図ることを目的として実施されている。

【管内治山事業実績】				
事業名	市町村	地区	工種	
			令和元年度	令和2年度
予防治山	二戸市	小山	谷止工	
保安林整備	二戸市	織詰	下刈	下刈
県単(崩壊地復旧)	二戸市	新山	山腹工	山腹工
予防治山	九戸村	田代	－	谷止工
地すべり防止	一戸町	根反	集水井等	
県単(施設維持補修)	一戸町	高間木	山腹工	－
県単(施設維持補修)	一戸町	上平	流路工	－
県単(施設維持補修)	一戸町	野尻	－	根継工他
管内計				



小山地区 治山施設

根反地区地すべり防止

織詰地区 保安林整備(保育)

(15) カシオペア・フォレストスクール

二戸林務室では、馬淵川上流流域森林・林業活性化センターが行う森林・林業に関する体験型活動の支援を平成12年度から実施。毎年、管内小学校15校程度の児童を対象として指導を行い、これまで指導した児童等の人数は約1万人となっている。

活動場所：折爪岳森林公園、西岳、学校林等

指導者：いわて森の達人等

